

おとう 阿東 嘉年

阿東地域交流センター 嘉年分館だより NO. 22

編集*発行：阿東地域交流センター
嘉年分館



759-1602 山口市阿東嘉年下28番地1
Tel : 083-958-0111
Fax : 083-958-0815

がんばろう！嘉年

11月23日（土・祝）嘉年分館で『ニコニコ音楽会』が開催され、地元嘉年を含めて約200人が演奏に耳を傾けました。地福の『あとう夢語太鼓』が7月28日の豪雨災害からの早期復旧を願い開かれ、他に『嘉年小学校』、周防大島から人気兄弟デュオ『マウンテンマウス』が出演しました。

嘉年小学校の児童は『マウンテンマウス』が作詞作曲した嘉年小のテーマソング『どう嘉年？好き嘉年？元気嘉年？』などを披露し元気な歌声を届けました。また当日は有志の皆さんが、来場者全員にぜんざいやたい焼きをふるまい、食のおもてなしをされていました。

災害から約4ヶ月過ぎました。復旧というにはまだまだほど遠いですが、こういったイベントなどとおし、気持ちの面からでも前向きに進めばと思う1日になりました。



阿東家庭料理大集合！冬編 in 徳佐 出品者・参加者募集

日時 2014年1月24日(金)
会場 阿東地域交流センター
参加料 無料 ※事前申込不要
対象 阿東にお住まいの方

*嘉年の家庭料理を出してみませんか？
詳しくは嘉年分館へ！！

阿東家庭料理大集合！ 出品者・参加者募集

冬編 in 徳佐

テーマ「心に残る思い出の味」

家庭料理を得意とし、思い出や愛情や郷土料理をぜひお出しください。お出しください。お出しください。

日時	2014. 1. 24 (金)	当日の流れ
会場	阿東地域交流センター・大ホール	11:00 開会式
参加料	無料 ※事前申し込み不要	11:10 家庭料理展示
対象	阿東にお住まいの方なら誰でも！	11:30 試食・交流
		12:30 抽選
		13:00 閉会



出品方法
家庭料理を出したい方は、阿東地域交流センターへお申し込みください。お申し込みください。

※抽選で選ばれた方は、お出しください。お出しください。お出しください。

お問い合わせ：あとうスロー・ツーリズム推進協議会事務局、あとう観光協会 083-956-2526

嘉年地区の人の動き (12月1日現在)

世帯数：235戸（前年同月比-12）
男性：221人（前年同月比 -8）
女性：253人（前年同月比-20）
合計：474人（前年同月比-28）

地域おこし協力隊着任

11月1日から平山徹さんが『地域おこし協力隊』嘉年地区の担当として着任されました。平山さんは、今後最大で3年間、都市部の若者の視点とアイデアを活かした新たな地域活性化事業に取り組みで参ります。皆さんもこれを機会に意見や課題を出し合い、一緒に嘉年を盛り上げていきたいと思いますか？



はじめまして。地域おこし協力隊の平山徹です。福岡市出身の25歳で、前職はIT関係の仕事をしていました。主な活動ですが、嘉年ハイランドさんとJA女性部さんのお手伝いをしながら、嘉年の農産物の販路拡大や、嘉年を有名にすることを目標に活動します。嘉年に来て驚いたことは、お米や野菜が美味しく、住民の皆さんがとても親切なこと。この良さを多くの人に知ってもらいたいと思っています。

移動販売のお知らせ

嘉年地区で、週2回、移動販売が始まっています。地福の「ほほえみの郷トイトイ」が、嘉年ではお馴染みの『どう嘉年？好き嘉年？元気嘉年？』をならして走ります。各地区の時間は次のようになります。

	火曜日	金曜日
市場	10:40	開籠 11:00
火打原	11:00	堂免 11:15
井戸	11:20	神田 11:30
大迫	11:40	土居 11:45
嘉年分館	12:00	嘉年分館 12:00
西居坂	12:50	吉部野上 12:40
東居坂	13:10	吉部野下 13:10



お百姓の来年がなくなった

7月28日のこれまでに経験したことのない大雨は、嘉年地域に大きな被害をもたらしましたが、特に吉部野地域は甚大な被害でした。

この災害を契機に、NHK山口放送局が吉部野下の横義明さんにスポットを当てて取材されたものが放映されました。その中で、横さんが「お百姓の来年がなくなった」と言われ「え！」と画面に釘付け、そして横さんは「百姓は、今年不作なら来年頑張ろう。今年豊作なら来年も頑張ろう、と米作に勤しんできた。それが、この災害でお百姓の来年がなくなった」と言われた顔を見ながら、私は目頭が熱くなりました。

近年、農業を取り巻く情勢は一段と厳しくなっていますが、ただ黙々と来年、来年と言い続けながら脈々と受け続けられてきた米作りが、過疎化・高齢化がどんどん進む中ですが、地域を大きく支えている気がします。そして、横さんは、「国などに任せちゃおれん。自分でできることは自分でやる。」とチェーンソーで流木の処理やトラクターで田んぼを起耕される姿を見て、感動しました。

今、地域の中で、この災害と高齢そして先の見えない復旧に営農意欲を失いやめようか、という声を耳にします。確かにこの災害で土砂や流木そして流失した田畑を目の当たりにすれば、厳しい状況ではありますが、脈々と続いてきた「来年！来年！」と気力を奮い立て、萎えた気持ちをリセットしていただきたいと思います。

がんばろう嘉年！ 来年を目標に

阿東地域交流センター嘉年分館長 山本 幸夫